

CONTENTS

	ページ
巻頭言 - 図書館の思い出 - (病理学第1 大井 章史)	1 - 2
雑誌の動き	2
お知らせ	
返却用ブックポスト新設	3
開館時間の変更及び休館について	3
医学中央雑誌 (LAN対応Windows版) の 起動方法説明会について	3
新着図書案内	
編集後記	

図書館の思い出

病理学第1 大井 章史

この度、図書館運営委員を拝名いたしました。欧文雑誌の価格値上げと円安というダブルパンチを受けて定期購読雑誌の10%カットを断行しなければならないこの時期に委員に選ばれたことは大変な名誉であり、その責任の重さをひしひしと感じながら定期購読雑誌名のリストを眺めているこのごろであります。

図書館の利用法は各人各様、様々であると思いますが、私の場合、研究上の必要に迫られて原著論文の検索に利用するほかに、毎月1、2度新刊の雑誌を眺めに図書館を訪れます。こちらの方はたいていは土曜日か日曜日で街の本屋さんを物色するような気軽な気分で訪れます。もともと本屋の冷やかしは好きなほうですが、甲府にはあまり大規模な本屋さんが無いように思われます。そのぶん市町村の図書館が手軽に利用できて、新刊本もすぐにとりよせて頂けますが。さて、あまり人のいない図書館で一人外国雑誌を漁っていますと時々留学先での図書館で過ごした時間を思い出します。私は1990年から二年半あまりニューヨーク、ブロンクスのある医学センターに留学いたしました。歓呼の声で送られた国費留学でありましたが、当地について2週間程経って現状が解ってくると愕然といたしました。かつてはアメリカの、そしてニューヨークの繁栄を背景として栄えた病院であったようでしたが、病院の背景にある地区一帯の社会的、経済的地盤沈下のために、この医学センターの、少なくとも私の属していたデパートメントの財政事情はかなり逼迫しており研究活動はかなり低下していました。旧式な実験器具、いや、それすら無い場合が多く、他のラボを駆け回って使っていました。いつものように忍び込むように行って借用していたトランスイルミネーターのガラス板を割ってしまったときはそのまま遁走しようかとも思いましたが、「ここはワシントンの桜の木の家だ」と思い正直にお詫びしたときの研究主任の御親切な言葉はいまも鮮明に覚えています。「気にするな、ガラスはいずれ割れるものなんだ。請求書はおまえに送るよ」。

食堂の食器をつかって実験をしたり、いまだから話しますが隣のラボのレントゲンフィルムを何回か無断借用したこともありました。渡米前に読んだ留学体験談とのあまりの落差に己の不幸を呪い、暗澹たる思いになることがしばしばでした。早期の帰国も考えたし、留学先の変更も検討しましたが生来の決断力の無さと、文部省に提出しなければならない面倒くさい書類のこと、また、こんな私をたよりとしている小ボスの慰留の言葉、そしてなによりも気になったことは転居にともなって失う高額のアパートのデポジットのことでした。負け犬に成りたくないという負けず嫌いの性分と妻の励まし、「気楽にやれ」という恩師の言葉もあって「どうせsabbatical leaveなんだ。」という気持ちになったのは1年半を過ぎたころでした。それからはじめたのが図書館通いでした。その付属図書館はけっして大規模なものではありませんでしたが米国で出版される主な医学雑誌はほぼ完備されていましたし、館外からとりよせる文献コピーは無料でした。週に2、3日は図書館に籠り、有り余る時間を使って論文を読み漁りこれからの病理学はどうあるべきか、帰国してからの研究計画、ときには人生について深く考えを巡らすことができました。幸いのこと、ブロンクスの図書館で練った研究計画は帰国後、実行に移すことができ多く

が成功しました。

私は図書館は情報の宝庫であると思っています。今、本学の図書館は財政的に窮地にたたされていますが、最低限の医学雑誌だけは確保して世界から発信された最新情報を遅れること無く手にいれることができるよう全学を挙げて取り組むべきであると考えます。



雑誌の動き

中止

思春期学	-v. 16 (1998)	臨床看護学
日本更年期医学会雑誌	-v. 6 (1998)	臨床看護学
日本助産学会誌	-v. 12 (1999)	臨床看護学
母性衛生	-v. 39 (1998)	臨床看護学

休刊

現代英語教育	-v. 35 (1999)	図書館
臨床科学	-v.35(3)(1999)	検査部

お知らせ

返却用ブックポスト新設

夜間入退館口前に、貸出図書の返却用ブックポストを設置しました。開館時間外に利用できます。ただし、ブックポストに入らないような大型本、傷んだ本やビデオテープ等は開館時間内にカウンターにお返し下さい。

開館時間の変更及び休館について

標記について下記の期間、蔵書点検等の作業実施のため、閉館時間の変更等を行います。利用者の皆様方のご協力をお願いいたします。なお、特別利用（身分証明書による入退館）は利用できます。

< 開館時間の変更の期間および開館時間 >
8月10日（火）～8月13日（金） 午前9時～午後5時まで
8月14日（土） 休館

医学中央雑誌（LAN対応Windows版）の起動方法説明会について

先日行いました、Macintoshでの説明会に続き、Windowsマシンでも教室等の御自分のパソコンから医学中央雑誌が検索できるようになりました。

つきましては、下記日程で起動方法の説明会を開催いたしますので、各室のコンピュータ管理担当の方、及び希望される方は、ぜひご参加ください。

記

7月26日（月）第1回	9：20より	第2回	13：20より
7月27日（火）第3回	9：20より	第4回	13：20より
7月28日（水）第5回	9：20より	第6回	13：20より
7月29日（木）第7回	9：20より	第8回	13：20より
7月30日（金）第9回	9：20より	第10回	13：20より

場所 図書館視聴覚室 1回約20分程度

人数 各回5人くらい（先着順）

申込方法 前日までに図書館カウンターに直接または電話、メールでお申し込みください。

内線（2110） <mailto:service@res.yamanashi-med.ac.jp>

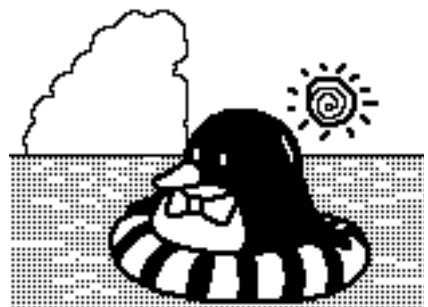
上記日程でご都合の悪い方は、御相談ください。

なお図書館のホームページにも詳細な設定方法があります。御自分でできる方は試してください。

編集後記

夏休みに入り、日増しに暑くなってきました。図書館の利用も、こころなしか少なくなったように感じます。みなさんも、暑さに負けず、図書館に足を運んでいただけたらと思います。

(H. Y.)



編集 / 発行	山梨医科大学附属図書館		
<TEL> 直通	273-9353	情報管理係	内2108
図書課長	内2106	情報サービス係	内2109
総務係	内2107	カウンター	内2110